

若者等活動拠点施設に係る下一之町、下二之町、下三之町の各町内会、 飛騨高山伝承地域活性化推進協議会との意見交換会 結果報告

日時 平成29年11月29日(水) 19:00～20:00

場所 高山信用金庫本店 3階 会議室

出席者 飛騨高山伝承地域活性化推進協議会、下一之町、下二之町、下三之町の住民17名出席
高山市企画課3名、飛騨高山大学連携センター2名

内容

- ・ 開会に当たり、飛騨高山伝承地域活性化推進協議会長よりあいさつをいただく。
- ・ その後、高山市より、開催趣旨・事業概要について説明。
- ・ 概要説明後、地元関係者との意見交換を行う。

(開催趣旨説明等)

- ・ 本事業については、9月の議会所管委員会に報告させていただいたが、委員会が公開会議という性格上、新聞報道等がなされ、それにより本事業を知ることとなった方もみえたかと思う。事業を進める上でやむを得なかったとはいえ、地元の方にご心配等をおかけしたことに對しお詫び申し上げます。
- ・ 本事業については、11月2日に下二之町1班のみなさんに説明し、意見交換をさせていただいたが、今回は、下町全体での意見交換会ということで、町内会の役員の方や飛騨高山伝承地域活性化推進協議会の役員の方を通じて、ご案内させていただいた。どのようなことでも良いので、気軽に意見を言っていただきたい。

(意見交換) ※→は市による応答

- ・ 本事業は、地元としてもありがたい話である。整備することについては、基本的に賛成である。
- ・ 整備した後の管理については、どのように考えているのか。(管理については)地元が関わらないと難しいように思う。せっかくなので有効活用していける方法を考えてほしい。
→民間ありきではなく、地域も関わる必要と考えている。
- ・ 旧村田邸については、地元・鳩峯車組が活用もしている状況。個人的な意見になるが、施設整備後については、鳩峯車組が管理し、活用もするというのも良いのではないかと考えている。そのあたり考えてもらいたい。
→同感である。地元等の理解のうえ進めたいと思う。
- ・ 予算はまだであると思うが、事業を実施することは決定しているのか。
→地元の説明し、理解のうえ進めることとしている。予算関係については、これからとなる。
- ・ 9月に初めて話を聞いて以来、地元(下二之町第一班)として何度も会議を開催させてもらった。結果、地元としては、(本事業について)全面的に協力していくこととした。なお、本事業に協力するに当たっては、次のとおり要望することとした。是非ともよろしく願いたい。

- 施設の維持管理については、市で責任を持って行ってほしい。
- 施設整備に伴い、人の往来等が増え、周辺環境が変化することが予想されるため、地元の生活環境等に十分配慮してほしい。
- 施設整備、活用について、地元の意見・思いにしっかりと耳を傾けて進めてほしい。
- ・ 旧村田邸は、鳩峯車組との関わりが深い。このことを踏まえると、鳩峯車組が活用することは、本事業を進める上での絶対条件にできないかと思う。
- ・ 資料中の活用例について、少し多すぎる気がする。施設活用のイメージがしづらい。
- ・ 建物はどのように整備するのか。間取りを変えて、複数の部屋を一つにするようなことはあるのか。
 - 歴史的建造物ということから、基本的には現状のまま残すこととしている。ただし、トイレ・流しなどの水回り、電気などについては、今の時代に合わせ、使いやすいうようにしたい。建物の持つ良さは残しつつ、整備することとしたい。一方で、躯体がどうなのか、調査する必要があると考えている。
- ・ 施設については、時期的に(地元)に使わせてもらえるようなことはあるのか。
 - 特定の団体が占用して使うことは想定していない。今後話し合いの中で、検討していく必要があると思う。
- ・ 土蔵は空になっているのか。活用する予定はあるのか。
 - 空になっていると思うが、改めて確認はしたいと思う。
- ・ シロアリは大丈夫か。
 - 正直分からない。シロアリ、耐震性などの躯体の調査は実施したい。
- ・ 検討メンバーの会議はどのように進める予定か。
 - 大変多くの方に申し込みいただいている。高校生もいるため、部会方式で検討していく必要があると思う。そのあたりの進め方については、今後詰めていく。
- ・ 高校生は、地域の大人たちと交流することが良い勉強になると思う。夜遅くならなければ大丈夫ではないか。
 - 学校からは、冬休みや春休み、土日・休日、あとは放課後と聞いている。相談して進めていきたい。

(総括)

- ・ 対象施設について、伝統的な建物であることから、基本的には現状をできる限り残した形で、整備を進めてほしい。
- ・ 管理方法等については、今後検討していただいたい。
- ・ 本事業については、飛騨高山伝承地域活性化推進協議会としても是非とも進めてほしい。

以上